

## シンポジウム

# 「近未来の地球環境時代における建築構造分野の役割 —環境負荷低減と安全・安心社会へ向けた 都市と建築の未来像を考えて—」

地球環境の観点から 2050 年に目指す地域システムの在り方やそれに向けての建築行為の中で構造分野が果たすべき役割は何かを主題に、建物の寿命マネジメントや環境負荷低減、木材利用ならびに進行しつつある気候変動への対応などを取り上げ、それらに関する解説や安全・安心社会へ向けた技術課題を示し、討論する。

**主催** 地球環境委員会 地球環境構造小委員会

**日時** 2014 年 12 月 9 日 (火) 13:00~17:00

**会場** 建築会館ホール (東京都港区芝 5-26-20)

### プログラム

**主旨説明** / 大谷恭弘 (神戸大学)

近未来の地球環境時代における建築構造分野の役割

—環境負荷低減と安全・安心社会へ向けた都市と建築の未来像を考えて—

### 主題解説

- |                                 |                |
|---------------------------------|----------------|
| 1. 構造技術者の立場からみた 2050 年の建築のあるべき姿 | 平川倫生 (三菱地所設計)  |
| 2. 都市からみた建物の寿命マネジメント            | 兼光知己 (清水建設)    |
| 3. 資源からみた建物の寿命マネジメント            | 藤田正則 (山口大学)    |
| 4. 環境負荷低減に向けた RC 部材・材料の取り組み     | 柳橋邦生 (竹中工務店)   |
| 5. 木材の利用                        | 軽部正彦 (森林総合研究所) |
| 6. 気候変動に伴う災害に関する問題提起            | 坂本真一 (清水建設)    |
| 7. 気候変動に伴う災害に対する防災              | 田村和夫 (千葉工業大学)  |

### 総合討論

司会 : 稲田達夫 (福岡大学)

まとめ / 西村 功 (東京都市大学)

\* 講演・発表の題目は、変更になる場合があります。

**定員** : 200 名 (申込先着順)

**参加費** : 会員 1,500 円、会員外 2,000 円、学生 1,000 円 (資料代含む / 当日会場払い)

**申込方法** : Web 申し込み <https://www.aij.or.jp/index/?se=sho&id=953> よりお申し込みください。

**問合せ** : 日本建築学会事務局 研究事業グループ 榎本

TEL : 03-3456-2057 E-mail : enomoto@aij.or.jp